

収入申告書

年 月 日

（宛先）秋田市福祉事務所長

住 所

氏 名

電話番号

私の世帯の総収入は、次のとおり相違ありません。

1 働いて得た収入（給与、内職、農業、自営業等）

	働いている者の氏名	仕事の内容 勤務先等	区 分	前 3 か 月 分			当月分 (見込み)
				月分	月分	月分	
有			収入額				
			必要経費①				
			就労日数				
・			収入額				
			必要経費②				
			就労日数				
無			収入額				
			必要経費③				
			就労日数				
必要経費のうち交通費の内容（前月分）		①乗るバス停（駅）	降りるバス停（駅）	1か月の定期券代		円	
		②乗るバス停（駅）	降りるバス停（駅）	1か月の定期券代		円	

（記入上のお願い）

- (1) 1の収入の有無について、該当するものを○で囲んでください。
- (2) 「働いて得た収入」は、給与、内職、農業、自営業等の収入の種類ごとに記入してください。
- (3) 農業収入については、前1年間の総収入のみを「当月分（見込み）」欄に記入してください。
- (4) 必要経費欄には収入を得るために要した交通費、材料代、仕入代、社会保険料等の経費の総額を記入してください。
- (5) バスあるいは列車を利用している人は、交通費の内容欄に乗降するバス停（駅）名、1か月に要する定期券代を記入してください。
- (6) 収入のうち証明書等（例えば勤務先の給与証明書）の取れるものは、この収入申告書に添付してください。
- (7) 自営収入がある人は売上報告書を、農業収入のある人は農業収入申告書を必ず添付してください。

2 年金、恩給、その他手当等の収入（受けているものを○で囲んでください。）

種 類		受給者名、記号番号	収 入 額
有	国民年金、厚生年金、恩給、児童手当、 児童扶養手当、特別児童扶養手当、 特別障害者手当、傷病手当金、 雇用保険金、その他（ ）	受給者名	月額 円
		記号番号	年額 円
・	国民年金、厚生年金、恩給、児童手当、 児童扶養手当、特別児童扶養手当、 特別障害者手当、傷病手当金、 雇用保険金、その他（ ）	受給者名	月額 円
		記号番号	年額 円
無	国民年金、厚生年金、恩給、児童手当、 児童扶養手当、特別児童扶養手当、 特別障害者手当、傷病手当金、 雇用保険金、その他（ ）	受給者名	月額 円
		記号番号	年額 円

3 仕送り、援助等の収入（前3か月分を記入してください。）

有 ・ 無	援助の内容	仕送り、援助者の氏名	月分	月分	月分
	現 金		円	円	円
	現 金		円	円	円
	米		月（ kg）又は年（ kg）		
	現物（ ）		全消費量に対する援助の割合（ ）割		

4 その他の収入（前3か月分を記入してください。）

有 ・ 無	区 分	内 容	月分	月分	月分
	財産収入 （土地、家屋等の賃貸料等）		円	円	円
	生命保険等の給付金		円	円	円
	そ の 他		円	円	円

5 働いて得た収入のない者（義務教育終了前の者は、記入する必要はありません。）

氏 名	働いて得た収入のない理由（該当する項目を○で囲む）
	老齢、障がい、病気、失業、その他（ ）
	老齢、障がい、病気、失業、その他（ ）
	老齢、障がい、病気、失業、その他（ ）

（記入上のお願ひ）

- (1) 2～4の収入は、その有無について○で囲んでください。
- (2) 有を○で囲んだ収入については、その右欄にも記入してください。
- (3) 申告した後、収入に変動があったときは、生活保護法第61条の規定により速やかに届け出をしなければなりません。
- (4) 不実の申告をして保護を受けた場合は、生活保護法第85条又は刑法の規定によって処罰されることがあります。

提出期限 年 月 日